

印西市青少年相談員だより

ときめき



印西市青少年相談員だより

平成 24 年 3 月 発行

編集・発行 印西市青少年相談員連絡協議会

問い合わせ 印西市教育委員会教育部生涯学習課

TEL 0476-42-5111

<http://www.inzai-seishou.com/>

青少年相談員とは、千葉県知事と印西市長からの委嘱を受けて青少年の健全育成を目的に、青少年と共に喜び、共に語り、良き相談相手になる身近なおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんのことです。

地域社会で青少年などを対象とした行事の開催、非行防止のためのパトロールなどをしています。これらの活動は、時間をやりくりして無報酬で活動しています。この歴史は古く、昭和38年に誕生し、これまで地域の子どもの健やかな成長を願ってさまざまな活動を行ってきました。

私たち17期(平成22年4月〜平成25年3月)相談員はこれまでの伝統を受け継ぎながら活動を続けていきます。

青少年の健全育成には何よりも地域ぐるみの取り組みが必要です。今後も地域に溶け込んだ活動を進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

青少年相談員とは、千葉県知事と印西市長から委嘱を受け、青少年の健全育成に携わるものです。私達の活動は、結果がすぐに見えませんが、青少年がスポーツや野外活動等の体験活動の良さや人とつながる喜びを実感できるよう全市対象事業「夏のふれあいキャンプ」「冬の長縄とび大会」、各地区での「地区活動」を行っています。また、青少年が安全で健やかに育つ環境づくり、家庭・学校・地域の連携による地域ぐるみの子育てを推進しています。

来年度は、「17期」青少年相談員最後の年になります。締め括りとしてぜひ「長縄とび大会のギネス挑戦」を実現したいと思っています。

私達の活力は、市民の皆様、印西市青少年相談員の広報紙「ときめき」やホームページの閲覧、また、事業に参加いただくことで、青少年相談員の活動を、ご理解・ご協力いただけることです。未来ある私達の子ども達が健やかに成長できるように今後もお願いいたします。

印西市青少年相談員連絡協議会
会長 川村 英雄

青少年相談員とは？

青少年相談員は、千葉県知事と印西市長からの委嘱を受けて青少年の健全育成を目的に、青少年と共に喜び、共に語り、良き相談相手になる身近なおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんのことです。

地域社会で青少年などを対象とした行事の開催、非行防止のためのパトロールなどをしています。これらの活動は、時間をやりくりして無報酬で活動しています。この歴史は古く、昭和38年に誕生し、これまで地域の子どもの健やかな成長を願ってさまざまな活動を行ってきました。

私たち17期(平成22年4月〜平成25年3月)相談員はこれまでの伝統を受け継ぎながら活動を続けていきます。

ひとりで悩まずに相談しよう

児童虐待に関する相談、通告の受付

子ども家庭110番 24時間・365日受付

TEL 043-252-1152

※月～金曜日の9:00～17:00は、各児童相談所でも受け付けています。

しつけ、教育、適正、養護、障害など児童に関するあらゆる相談

千葉県中央児童相談所

月～金曜日 8:30～20:00

TEL 043-253-4101

人権相談(いじめ、体罰、不登校、虐待等)

子ども人権110番(法務局)

月～金曜日 8:30～17:15

フリーダイヤル 0120-007-110

教育相談(不登校、いじめ、人間関係、学業不振、進路、適正などの教育相談全般)

千葉県子どもと親のサポートセンター

月～金曜日 8:30～17:15

来所相談 月～金曜日 9:00～17:00(予約制)

フリーダイヤル 0120-415-446

少年相談(非行防止、犯罪被害等)

千葉県警察少年センター(ヤング・テレホン)

月～金曜日 9:00～17:00

フリーダイヤル 0120-783497

面接相談の場合は予約してください。

印西市で行っている相談

学校生活についての相談

印西市教育センター教育相談

(月～金曜日 9:30～12:00
13:30～15:30)

TEL 47-7830

印西市教育センター子ども相談

(月～金曜日 9:00～17:00)

TEL 47-7830

印西市教育委員会教育部指導課

(月～金曜日 8:30～17:15)

TEL 42-5111

18歳までの子どもについての各種相談

印西市家庭児童相談室

(月～金曜日 9:00～16:00)

TEL 42-5180



青少年 ふれあいキャンプ

副会長 西垣 真澄

7月30日から7月31日まで平岡自然の家キャンプ場で「青少年ふれあいキャンプ」をしました。全市の小4から中2まで約100名の参加があり、異なる学校の子同士がひとつの班になり「自然の中で共同生活を通して、がんばりぬぐ力、考える力、みんなと仲良くする力を育て、自然のすばらしさを感じよう」というキャンプ目的通り、皆で協力し合い生活することを学びました。

最初のアトラクションは「ウォークラリー」。地図を片手に途中のクイズに答えながら歩きます。道に迷わず、クイズにも正解しないと高得点は狙えないよ。

一時は体育館に泊まることも考えた天気も持ちこたえ、次はテントの準備にかかります。レクリエーションで団結力が生まれ、たあとは、テント張りも夕食のカレー作りもお互い協力し合いながら順調に準備が進みます。



夜は待ちに待ったキャンプファイヤーで、エールマスターの進行のもと、歌やゲーム、フォークダンスを楽しみました。

一日が終わる頃にはすっかり打ち解けて、消灯時間を過ぎててもテントからはいつまでも話し声が洩れてきます。

翌日の朝食のあとは、マッチピー大会。7月とは思えない寒さで雨で、昼食は流しそつめんの代わりに温かいつけそつめんとなりました。感想文を書いた後はすぐ閉村式。楽しかった一泊二日の「青少年ふれあいキャンプ」も、もつ終わります。

「来年もまた青少年ふれあいキャンプに参加してくれませんか？」「ハイ！参加します」で解散しました。



冬の朝、松山下公園総合体育館。元気な子ども達、わたしたち相談員に駆け寄り

「長縄とびの練習をしたいです！場所はどこをつかえますか？」

真つすな瞳をむけてくれました。練習を終え開会式、チームごとに整列し、しっかりとお話を聞くみなさんの手には白いティンブグやバンソウコウ、朝の練習でタイミングを取りきれず少し涙を流しながら一生懸命にうなづいてた姿。

今日までたくさん練習を重ねてきたみなさん、学校の休み時間や放課後に気持ちを揃え呼吸を合わせ、長縄を跳んできたのでしようね。ひとつひとつの仕草や取り組みから感じ取れました。

予選会が始まり各チーム陣を組み、それぞれの気合のひと言！



長縄とび大会

副会長 塩田 元子

「みんなを信じて自分を信じて気持ち合わせよう！」

「練習してきた力をだそう！」



決勝戦へ勝ち抜いたチーム名を読み上げると、アリーナに響く歓声と拍手！喜ぶだけでなくライバルを称えてエールを送るチーム。

決勝は私たち相談員も手に汗握る接戦でした、終わった後の甘くて温かいおしるこに全員がニッコリ笑顔。

副賞は「月の土地1エーカー」400㎡トラック約半分の面積、みなさんが大人になるときは本当に自分たちの月の土地に足を踏み入れることでしょうか。また来年、熱い長縄とび大会にしましょうね。

印西中地区

◆(木下小学区)

「工王国」で自然体験！

木下小学区長 塚田 成道



木下小学区では、地域の里山を「工王国」として整備し、子ども達が自然に触れながら自由に遊べる「木下工王国」活動をメイン行事として実施しています。

工王国の活動を始めて今年で9年が経過し、保護者や地域の方々のご協力・ご理解により、活動も定着してきました。今年度は、木下小学校の1年生から6年生までの138名が会員登録しています。

参加している子ども達は、基地づ

くり、竹細工、また近くの畑で野菜の収穫体験など自由に伸び伸びと活動し、月1回の工王国クラブを楽しみにしてくれています。これからも、子ども達が自然の中で泥んこになって遊べる場づくりを頑張っていきます。



工王国ブログ

http://blog.livedoor.jp/kiotoshi_eo/

◆(大森小学区)

学校との連携を大切に！

印西中地区長 古出 進

大森小学区長 五十嵐 正典

大森小学区では学校やPTAと連携し、大森小学校行事に積極的に参加しています。5月には、一泊二日で行われる小学5年生を対象とした自然教室のキャンプファイヤーに参加、赤々と燃え上がる火を囲みながら、思考を凝らした各班の発表やレクなどが行われ最高に盛り上がりました。また10月には、PTAバザーでスパーボールすくいコーナーを出店しました。スパーボールすくいは子ども達にとっても人



気が高く行列ができるほど大盛況でした。11月には、あいにくの天候によりロードレース大会は延期になりましたが、予定通りもちつき大会を行いました。子ども達には臼や杵でもちつき体験をしてもらいました。

威勢の良い掛け声が響き渡り、自分達で作ったおもちをおいしそうに食べていました。その他にも、中央公民館事業の通学合宿などにも参加しています。

学校やPTAと一体となった事業を実施することで、先生や保護者の方々と違った立場で子ども達とふれあう機会を設けています。今後子ども達と同じ目線になり良き相談相手になれるよう、相談員一丸となり頑張っていきたいと思えます。

◆(永治小学区)

地域ぐるみで

永治つ子クラブ！

永治小学区長 石橋 篤



永治小学区メイン行事の永治つ子クラブは、夏休みの最後の土曜日に子ども会、保護者の方々、永治小学校の先生のご協力のもと、地域が一体となって開催している行事で、子ども達も毎年楽しみにしています。永治クラブを会場に、ほぼ全校生徒が集まり、日中は房総かるたの対抗戦を行い、その後は映画鑑賞、暗くなつてからは、子ども達に一番人気の肝試し大会、最後は盛大な花火大会と、盛り沢山な内容です。子どもも大人も夏の思い出づくりを一緒に楽しみました。

小林中地区



「自転車の乗り方教室」



11月には「自転車の乗り方教室」を行いました。実技講習の他に、印西警察署のビデオ講習会やヤマト運輸さんの安全講習会を開きました。昼食では、みんなで小林中地区特製カレーに舌鼓を打ちました。

2月に入ると、「房総かるた大会」を小林公民館で開催しました。インフルエンザで開催が心配されましたが、約60名で熱戦が繰り広げられました。会場は子ども達の熱気でムンムンしていました。

来年度も更に充実した活動内容で、みなさんの笑顔のために活動していきます。

小林中地区 小川 義人
小林中地区は、子ども達とのふれあいを大切にし、10名の青少年相談員が地区活動を行っています。

今年度も、小林中地区恒例の3つの地区活動を行いました。昨年10月、「東京タワーを階段で昇ろうよ」では、多くの子ども達の参加がありました。今回は浅草寺周辺を散策し、仲見世通りの買物を楽



「房総かるた大会」



西の原中地区

元気いっぱい！

東京ウォーク・お台場散策
西の原中地区 小林 みゆき

平成23年11月20日、5年生・6年生を対象として80名を超える大人数で第4回パワーアップ東京ウォークを開催しました。例年の東京タワー、レインボーブリッジ、お台場散策のコースに加え、今年はスカイツリー見学と隅田川クルー



「東京タワーとお台場散策」

ズもして、盛りだくさんの一日でした。

浅草から隅田川クルーズのあと、田の出棧橋で下船し、レインボーブリッジの遊歩道を通ってお台場へ行き、バイキングでランチを楽しみました。

お台場散策では班ごとに分かれ、フジテレビ見学やお化け屋敷、ショッピングを楽しみました。

お化け屋敷では大騒ぎをして、泣いてしまう子もいましたが、いつでもどこでも元気に走って、楽しんでいる子ども達を見て、私たちまで元気をもらった気がします。

コース最後の東京タワーで子ども達は、600段という長い階段をすいすいと登り、頂上手前でみんなで一緒にゴールをしました。頑張った証として、昇り階段認定証をもらったのも嬉しいことでした。

これからも子ども達に楽しんでもらえる活動をしていきたいと思



印旛中地区

印旛中地区長 杉村 泰輔

私たちが印旛中地区では10月9日(日)秋晴れの中、第47回印旛地区少年少女のつどい大会が、印旛地区子ども会の協力をいただき300余名20チームの参加でみんな1本の綱に力を合わせて白熱した接戦が繰り広げられました。結果は優勝吉高(八合小)2位師戸(宗像小)3位平賀(平賀小)となりました。毎年優勝が入れ替わる全チーム楽しく頑張れる大会です。

そして10月22日、23日でトライザネーチャーを実施しました。本年は奥多摩アウトドアセンターの協力で東京都の御岳渓谷を中心にラフティング、トレッキング、残念なことに雨天のためツリクルージング(木登り)はできませんでしたが、カヌーをやったり、つるつる温泉に入ったり参加した子ども達は多くの自然を満喫し、またいろいろの経験をしたことでしょう。子ども達の「また参加したい」との言葉が、私たちを本当に元気づけてくれます。



本埜・滝野中地区

地域とのつながりを目指して！

本埜中地区長 稲葉 彰司
滝野中地区長 塩田 二元子

本埜中地区と滝野中地区は合同で事業を展開しています。

毎年恒例で、夏休みに実施しているのが、小型モーターの世界企業マブチモーター(株)さんの全面協力のもと、「親子モーター工作教室」で、小学生の夏休みの自由研究の作品にもなっています。今年度も24組の親子が協力しながら「発電・蓄電・自動で走るリンクカー」作りに取り組みました。



「親子モーター工作教室」



24年度も多くの「意見」指導を受けながら子ども達の成長、思い出作りに少しでも貢献できるように印旛中地区相談員力を合わせて活動します。

船穂中地区

船穂中学校区の

活動を振り返って

船穂中地区 卯沢 英征
我々船穂中地区の相談員は、船穂小(4人)と高花小(5人)で活動しています。

船穂中地区恒例の卓球・スリッパ卓球大会を船穂コミュニティセンターで開催しました。

昨年も開催出来ていれば、今期の相談員では2回目になるであろうだけに、相談員も変わり始めての開催で段取りが悪く迷惑もかけてしまいました。

「ごめんねー！」

来年度は、任期の最終年になりますので、活動内容を充実させ、みんな楽しんでいけるといいと思います。頑張っていきたいと思っておりますので良いアイデアがありましたらお寄せください。

よろしくお願ひします。



「ドッチビー大会」

12月には今年度、初めて「ドッチビー大会」を滝野小体育館で開催しました。柔らかいディスクを使ったドッチボールに似たディスクドッチのゲームやストラックアウト等いい汗をかきました。初めてドッチビーを経験する子どもも直ぐに慣れて、楽しんでいました。

他の学校や学年の違う児童同士のふれあう機会にもなります。24年度も計画していきますので、たくさん参加をお待ちしています。

また、7月と12月には本埜図書館の読み聞かせ事業に協力して、来館した小さな子どもに紙芝居や本の読み聞かせを行いました。